

令和元年度
伏見区区民活動支援事業
活動事例集

～区民が主役のまちづくり～



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



令和2年3月発行 伏見区役所地域力推進室 京都市印刷物第313260号

伏見区役所・深草支所・醍醐支所



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



～はじめに～

この伏見区区民活動支援事業活動事例集は、伏見区区民活動支援事業に採択された団体による「区民が主役のまちづくり活動」を、より多くの皆様に知っていただくとともに、団体の活動報告を兼ねて作成したものです。

「自分たちも伏見区内で何か活動ができないか」とお考えの皆様の参考になれば幸いです。

目次

1 伏見区区民活動支援事業の概要	P1
2 令和元年度採択団体一覧	P2～4
3 巻頭インタビュー	P5～7
4 採択団体の取組紹介	P8～24



1 伏見区区民活動支援事業の概要

この事業は、「伏見区基本計画～皆でつくる すむまち伏見～」の推進に当たり、区民の皆さんが、自分たちの地域を暮らしやすい魅力あふれるまちにしていくために、区民主体で取り組まれるまちづくり活動経費の一部を支援するものです。

採択事業は、「伏見区区民活動支援事業審査会」委員による審査を経て、伏見区長が決定します。

また、平成29年度から、小規模枠事業のうち、重点課題（子どもの貧困対策等、健康長寿、地域防災）の解決を主な目的とし、かつ学区レベルなど広い地域への効果が見込まれる事業については、「重点支援事業」に位置付け、優先的に採択しています。

① 補助金上限額

一般枠	上限60万円（必要事業経費の2分の1以内）
重点支援事業	上限15万円（必要事業経費の5分の4以内）
小規模枠	上限15万円（必要事業経費の5分の4以内）

② 申請・採択状況

	申請件数（金額）	採択件数（金額）
一般枠	9事業（4,135千円）	8事業（3,535千円）
重点支援事業	18事業（2,565千円）	17事業（2,415千円）
小規模枠	28事業（3,747千円）	28事業（3,747千円）
合計	55事業（10,447千円）	53事業（9,697千円）

参考：過去の採択状況

	申請件数（金額）	採択件数（金額）
24年度	26事業（7,483千円）	19事業（4,946千円）
25年度	39事業（10,504千円）	33事業（8,400千円）
26年度	40事業（10,309千円）	33事業（8,142千円）
27年度	53事業（14,052千円）	33事業（8,393千円）
28年度	54事業（14,178千円）	37事業（9,767千円）
29年度	61事業（12,332千円）	51事業（10,000千円）
30年度	70事業（15,026千円）	51事業（9,817千円）

2 令和元年度採択団体一覧

巻頭インタビュー掲載団体

団体名	事業名	掲載頁
伏見～るかるた事務局【一般枠】	伏見～るかるた普及事業	5
とまり木休憩所実行委員会【重点支援事業】	とまり木休憩所プロジェクト	6
日野学区自主防災会【重点支援事業】	災害時における安否確認行動の普及啓発事業	7

① 一般枠

団体名	事業名	掲載頁
横大路まちづくり協議会	横大路まちづくりフェスティバル「昔・今・未来」	8
地域と人と～かけはしの会	誤嚥を防いで健康長寿「ラジオでお口の体操」	8
NPO法人向島駅前まちづくり協議会	巨椋池総合資料館（仮称）の創設	8
淀観光協会	アカミミガメを駆除して淀城お堀のハス『淀姫』を復活させるプロジェクト	9
一般社団法人 日本食育者協会	伏見飲食文化の発信拠点創出事業	9
向島南夏祭り実行委員会	第2回 向島南夏祭り	9
特定非営利活動法人伏見クラブ	地域の子供達とスポーツを通じて夢と希望を持って戦おう！	10

② 重点支援事業

団体名	事業名	掲載頁
京都市南浜児童館運営協力会	笑顔つなぐ みんなのいいばしょ（居場所）	11
向島ニュータウン学習会運営チーム	向島ニュータウン小学生・中学生学習会	11
藤森学区社会福祉協議会	ふれあい子どもひろば	11
小栗栖宮山子どもの居場所づくり実行委員会	小栗栖宮山子どもの居場所「おおぞら」	12
池田学区社会福祉協議会	池田子どもの居場所づくりプロジェクト	12

②重点支援事業

団体名	事業名	掲載頁
伏見公園体操クラブ	地域高齢者のための体操クラブ	12
スマイル淀プロジェクト	スマイル淀プロジェクト(めだかでつなぐ淀の和)	13
株式会社健幸プラス	歩行歩数全国行脚シュミレーションプログラム	13
久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会	久我・久我の杜・羽束師 健康福祉まつり	13
久我地区社会福祉協議会	単身高齢男性対象の「男の料理教室」と「洛いも」のグリーンカーテン作り	14
春日野学区民健康ウォーク推進委員会	春日野学区民健康ウォーク推進「日本三大名泉の旅」	14
桃山東学区自主防災会	全戸配布防災ハンドブック作成	14
田中宮市営住宅自治会	市営住宅及び地域の防災力を高めるワークショップ事業	15
深草学区自主防災会	地域の集合場所での、防災行動マニュアルの作成と導入	15
藤城学区自主防災会	災害に強い 安全・安心なまちづくり	15

③小規模枠

団体名	事業名	掲載頁
伏見寒天記念碑を建てる会	寒天特産品づくり	16
伏見の魅力 広め隊	伏見の歴史的魅力を広める事業	16
まあいいか labo きょうと	注文をまちがえるレストランテ(まあいいか cafe)	16
KYOTO伏見音楽祭実行委員会	KYOTO伏見音楽祭	17
ダンスホビークラブ(DHC)	ペアダンスで健康長寿	17
五感で学ぶ料理教室 ククラブ	自分のできるお昼ごはん!	17
難聴者カフェ居場所づくり	居場所づくり	18
京都伏見歴史普及会	伝承の動物をめぐる 伏見の絵地図作成プロジェクト	18

団体名	事業名	掲載頁
2019龍谷大学SDGsキャップストーンチーム	伏見区のSDGs達成に向けてのアクションプラン作成	18
南部公園愛護協力会	地域に愛される公園づくりプロジェクト	19
にじいろプロジェクト	多様性を認め合える地域づくり	19
向島賑わいづくり事業者組織	近鉄向島駅前活性化事業	19
ももネット	Tunagu spot事業	20
伏見楽舎	西日本最大の宇治川のヨシ原を保全する為の活動	20
大岩七瀬川サロン実行委員会	第3回大岩七瀬川サロン	20
父活プロジェクト	SATOYAMA Sketch! ～「印象の森」を描こう～	21
深草・竹やすらぎの会	竹・おでかけベンチで深草・やすらぎのまちに!	21
バンブーフレンズ	美しい深草竹林の景観を守ろう!	21
龍谷大学政策学部井上ゼミ	大岩街道周辺地域の不法投棄対策および鎮守池整備・活用事業	22
特定非営利活動法人深草・龍谷町家コミュニティ	「食」でつなぐ世代間交流	22
藤森神社ラジオ体操の会	ラジオ体操推進と地域コミュニティの活性化活動	22
砂川学区人に優しく美しい街作り協議会	人の和で繋ぐコミュニティの街(学区)	23
鴨川運河会議	みんなでつくろう未来にひろがる「高松橋ひろば」	23
砂川安心安全見守り隊	砂川小学校児童安心安全見守り事業	23
砂川学区自治連合会	我が事として分かちあう砂川の街づくり	24
醍醐味eets準備会	醍醐味eets	24
笑顔いっぱい会	子どもが創る町づくりサポート	24

※各枠ごとに申請順に掲載しています(インタビュー除く)

③ 巻頭インタビュー

伏見～るかるた普及事業〈伏見～るかるた事務局〉〔一般枠〕

連絡先 ☎075-641-2581 (大谷)
✉fushimi-ru-karuta@googlegroups.com

『親鸞が 生まれ育った 日野の里』『深草の 竹で生まれた 深草うちわ』『じゃあねまた つばめのねぐら 向島』など伏見らしさがぎゅっと詰まった60枚の「伏見～るかるた」。伏見～るかるた事務局では、伏見の歴史・伝統・文化を区民に伝え、世代間交流を促すとともに、高齢者の健康づくりに役立てることを目的として「伏見～るかるた」普及活動に取り組んでいます。

活動インタビュー

伏見の魅力を伝える伏見～るかるた

今年度は健康づくりのために、伏見～るかるたに描かれた名所を巡る冊子を作成。「冊子を作る過程で、自分たちも地域のことを知って学ぶことができ、地域の人たちにも冊子を届けて喜んでもらえるのが嬉しいです。」と事務局長の坂井さんが語ると、津田さんと福富さんも頷いて「今年はかるた一色の一年だった。」と振り返りました。毎月の冊子作成会議のほか、伏見～るかるた体験会や展示のため、夏以降、ほぼ毎日曜日にかるた普及活動を実施。

「その甲斐あって、『体験会をやって欲しい』と依頼を受けたり、体験した人たちが『自分たちでかるたをしたよ』と聞いたり、だんだんと普及してきたような気がします。」と手ごたえを感じていました。



伏見～るかるた事務局メンバーのみなさん



展示や体験会の様子

昨年度に「伏見～るかるた」をリニューアルして伏見区全域の魅力を詠んだ60枚のかるたが完成。体験会では伏見、深草、醍醐のどこに行っても「自分の地域の句」があると喜んでもらえるようになりました。同時に「伏見にはこんなにたくさん名所があるのか」と驚きの声も寄せられました。

会話が生まれる かるた取り

伏見～るかるた事務局では、高齢者へのかるた普及活動を今年度初めて展開。句を耳で聞いて、目で札を探して、手を動かして札を取るなど身体を使っただけのかるた取りは高齢者にとって適度な運動になります。「かるたを一枚取るごとに『ここに行ったことがある』とか『絵札がきれい』とか会話が広がるんですよ。それが楽しいですね。」と福富さん。実際、体験会の参加者からは「初対面でもかるた取りをしているうちにすぐ親しくなる。」「思いっきり笑って元気になった。」などの声が寄せられました。

支援事業を通じて、たくさんの地域の方の協力で、体験会や展示会を行う機会に恵まれました。「今後も体験会やかるた大会を続けながら、多世代とのコミュニケーションの場や高齢者の活力の場を作っていきたい。」とみなさん力強く抱負を語っていました。

Interview

とまり木休憩所プロジェクト〈とまり木休憩所実行委員会〉〔重点支援事業〕

連絡先 ☎075-641-9301
✉fuka.s.houkatsu@kyoro.or.jp

子どもからお年寄りまでみんなに愛される『とまり木休憩所』に

藤森・藤城学区は勾配のきつい坂が随所にあり、スーパーや商店街も遠方にあるため、買い物や移動に不便を抱える高齢者や歩行中の転倒事故が多い地域です。このため高齢者が通る道の脇にベンチ等を設置し、休憩するスペースを確保することで、少しでも外出しやすい歩行環境の整備と休憩所での住民相互のコミュニケーション促進を目指し、取組を開始。

現地調査を行い、ベンチの場所の選定・設置協力への呼びかけ、ベンチ製作、「とまり木休憩所」の表示プレート製作、情報の周知を行っています。

今回は実行委員会会長の永野さんと実行委員会の事務局を担う深草南部地域包括支援センター長の細川さんにお話を伺いました。



深草マルシェで表示プレート製作を実施
(右から2番目:会長・永野勝次さん、
一番左:事務局・細川剛秀さん)

活動インタビュー

活動してみての感想・苦労・効果

「ベンチづくりも表示プレートも全て手作りなので準備や製作が大変ですが、地域の人が積極的に関わってくださり、まちづくり活動と一緒に取り組めるのがいいですね。」と細川さん。また、「実行委員の皆さんで、ベンチづくりへの協力や設置場所の協力を呼びかけるチラシを配ると『手伝うよ』や『自宅のイスを使って』『置ける場所・大工道具あるよ』といった反応があるのも嬉しい。」とのこと。永野さんは、「ベンチ1台作るだけで労力も時間もかかるが、たくさんの人に関わってもらって『つながり』が生まれたことが効果だと思います。」とのこと。協力者は、自治連合会や民生児童委員協議会など地域の各種団体だけでなく、福祉施設や銀行・お寺などにも協力の輪が拡大。最近では、京都新聞やKBSラジオでも取り上げられ、さらに関心を集めているそうです。



藤城小学校オータムフェスタでベンチづくり実施

今後の活動予定



ベンチの防錆剤塗り作業

永野さんの話では「藤森・藤城学区を合わせて10台は設置できそう。今後は20台を目標に増やしていきたい」とのことです。そして、いずれは、とまり木休憩所のある場所をマップに落とし込めたらと考えているそうです。

また、細川さんからは「この取組は、ベンチを置かせてくれる人のご厚意で成り立っている。安全面への留意やきれいに使い続けるなど、地域の人みんなが協力して見守っていただけたら。」と。そして、「子どもからお年寄りまで、とまり木休憩所を愛用する姿が見られるようになりました。ベンチが、多世代をつなぐコミュニケーションツールになることも期待しています。」と話していただきました。

③ 巻頭インタビュー

災害時における安否確認行動の普及啓発事業〈日野学区自主防災会〉〔重点支援事業〕

連絡先 ☎075-573-1919(西)

地域での共助をしやすい…「無事です。フラッグ」の掲出

災害対応や防犯のために地域での共助が必要とされています。しかし、家の外からでは、そこに住む人が元気なのか、助けを求めているのか、ということがわからないため、地域での共助は案外難しいもの。そこで日野学区では、地域の方々が毎月5日に「無事です。フラッグ」を自ら玄関先に掲出し、住民の安否確認や援助の必要性の確認をする取組を実施中。

今年はこの取組の普及を狙った啓発カードを配布してきました。その成果もあり、取材時点でフラッグの地域住民への普及率は100%を達成し、掲出率も地域差はあるものの90%超に。今回はこの取組を率いる日野学区自主防災会の西会長にお話を伺いました。

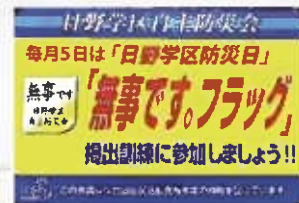


日野学区自主防災会 西会長

活動インタビュー

取り組みのきっかけ…向こう三軒両隣の仕組み化

西会長は、2014年の長野県神城断層地震に見舞われた長野県の白馬村で、地域住民が声をかけ合うことで、一人の死者もなく災害危機を乗り越えたというニュースを知りました。これが発想の原点となり、高齢者の見守りだけでなく、防災や防犯などの、日常的なケアを必要とする目的の達成には、向こう三軒両隣の仲の良さが基本だと考えました。もっとも、単に仲の良さが大事というだけではダメなので、これを仕組み化。具体的には、組長が自分の担当地域のフラッグ配布と掲出状況確認を行い、町内会に報告する仕組みを作る事にしました。



啓発カード



掲出状況記録表

日常的な活動を習慣化する工夫

始めたものの、困難もありました。フラッグの掲出を忘れる住民や、チェックを忘れる組長がいて、十分な効果が出ないのです。そこでチェックリストを作成し、家の中に貼れるように工夫。また、忘れても思い出せるように、頻繁に地域の人と会って話せる機会を作ったところ効果を発揮し、問題を解決できたそうです。

「人間、どうしても忘れますからね。でも習慣化すれば放っておいても出来るものです。習慣化が大事です。」と西会長。

仲間を精一杯褒めることが大事

西会長は、これからは空き家対策や独居高齢者対策にも取り組んでいきたいと語ります。精力的に活動を続ける西会長に地域活動を続けていく上で大事なことを伺うと「北風と太陽」というところの「太陽」です。」とのこと。「みなさん、ボランティアでやっておられるわけですから、精一杯褒める。人間、いくつになっても褒められるのはうれしいもの。特に若い人や、初めて自治会の役員になる人なんかは、これから何をやらされるんだろう、と不安になるものですし。そういう人の不安を率先して払拭したいですね。」と笑顔で抱負を語られました。

④ 採択団体の取組紹介 ①一般枠

区民が主役のまちづくり

横大路まちづくりフェスティバル「昔・今・未来」〈横大路まちづくり協議会〉

連絡先 ☎090-4648-7109(岡井) ✉Okahide1104@leto.eonet.ne.jp

地域の歴史・文化について知らない住民も多く、地域コミュニティの低下により地域への愛着心、郷土愛が不足している中、地域課題の洗い出し、課題解決に向けて、自治会、各種団体、地域企業が一体となってイベントを開催することで、地域発展の機運の高まりを目指します。

団体からのメッセージ

事業の計画・企画・実施・運営を地域住民が中心となって実施することで組織力・地域力・団結力の向上につながりました。また、地元の小学校児童・中学校生や多くの地域の方に参加していただき地域の活性化の機運が盛り上がり、郷土愛を感じさせる地域一丸の事業となりました。当日は、約2,800名の来場者があり、地域の安心・安全なまちづくりの礎の日となりました。



誤嚥を防いで健康長寿「ラジオでお口の体操」〈地域と人と～かけはしの会〉

連絡先 ☎075-602-9443(葛山) ✉kakehashinokai@gmail.com

インターネットに疎く、文字も読みづらい高齢者にFMラジオ放送を通して、地域密着の情報を届けるとともに、孤立しがちな人たちに何か繋がりを持ってもらおうと週1回30分の番組を制作。

また、今年度からは、口腔機能訓練を取り入れた「お口の体操教室」にも力を入れています。

団体からのメッセージ

9月、10月、2月の放送スタジオにて「公開健口(けんこう)教室」を賑やかに実施しました。高齢者の中には、一言を発さずに丸一日を過ごす人もおられます。誤嚥を防ぐお口の体操で声を出し、明るく一日を過ごしてもらえればと考えています。



巨椋池総合資料館(仮称)の創設〈NPO法人向島駅前まちづくり協議会〉

連絡先 ☎075-621-0952(山崎) ✉yyouchi@palette.plala.or.jp

干拓前の巨椋池は、府内最大の湖(周囲約16km)で豊かな自然環境を育み、固有の水生植物が植生していました。また、近世には、この地に伏見城とともに向島城が建設されるなど、巨椋池周辺が、地理的・歴史的に重要な場所であったことから、現存する巨椋池固有の水生植物の保存・展示と向島城の関係資料の調査・収集等は住民の責務であり、また、この活動が住民の地域愛の醸成につながることを願って活動しています。

団体からのメッセージ

府内最大の湖、水生植物など自然の宝庫「巨椋池」が向島地域にあったことや1590年代には伏見城とともに向島城がつくられ、豊臣秀吉や徳川家康が居住し、日本の政治の中心であったことを多くの人に知ってもらいたい。そんな「巨椋池総合資料館」を作りたいと思っています。



4 採択団体の取組紹介 ①一般枠

区民が主役のまちづくり

アカミミガメを駆除して淀城お堀のハス『淀姫』を復活させるプロジェクト〈淀観光協会〉

連絡先 ☎ n-tada68@pref.kyoto.lg.jp (京都府保健環境研究所水質・環境課 多田)

淀城跡公園の堀に植生するハスが急増するアカミミガメにより食され急減していることから、アカミミガメの捕獲駆除を行うとともに淀城ゆかりのハス『淀姫』を復活させることで、地域住民の憩いの場の創出を目指します。

団体からのメッセージ

今年度は、堀の一部を整備し、4月に『淀姫』を移植することができました。花が見頃になる7月28日に観蓮会を兼ねて環境学習会を開催。前日に京都新聞の記事で紹介されたこともあり、多くの方に参加していただきました。観蓮会を定例行事にしながら、今後も地道にアカミミガメの駆除を続け、『淀姫』を増やしていきます。



伏見飲食文化の発信拠点創出事業〈一般社団法人 日本食育者協会〉

連絡先 ☎ 075-644-6643 ☐ info@shokuikusya.com

伏見を訪れる観光客の地域への経済貢献が少ないのは、有用な伏見の飲食文化が活用・発信されていないことに一因があります。伏見区産食材の有用な活用法や加工品開発を行い、定期的、常在的な場を設置することで、観光客の滞在時間の延長や区民の文化度の向上に貢献します。

団体からのメッセージ

納屋町商店街を発信拠点に伏見区内の農家の主婦が中心となり『伏見農家の台所ワーキング・グループ』を結成しました。伏見区産食材を使ったおばんざいや加工品の開発や試食会の開催など食文化の活用・発信を行い、地元の方や観光客との食の交流を楽しみながら続けていきます。



第2回 向島南夏祭り〈向島南夏祭り実行委員会〉

連絡先 ☎ 075-601-8534 (西澤) ☐ dkblc004@kyoto.zaq.ne.jp

向島南地域では、春から夏にかけてのイベントがないこと、3つの小・中学校の統合によって、少年補導の団体がなくなり関連事業が廃止されたこと、少子高齢化により区民体育祭参加町内会の減少、地藏盆など地域行事の廃止など、地域力の低下が見られることから、地域住民を対象とした夏祭りを開催。世代間交流を深め、今後も住み続けたいと感じられる地域を目指します。

団体からのメッセージ

向島秀蓮小中学校・京都すばる高等学校両校の吹奏楽部員90名による素晴らしい演奏が、会場を大いに盛り上げました。両校の在校生・保護者も多数来場され、子ども向け盆踊りと合わせて若い人々と中高年層との交流を図ることができました。



地域の子供達とスポーツを通じて夢と希望を持って戦おう!〈特定非営利活動法人伏見クラブ〉

連絡先 ☎ 075-323-1762 ☐ tsuboi@npo-fushimiclub.jp

中学生のための地域スポーツクラブを設立し、整備をすることで、子ども達の進学支援や共働き世代の保護者が安心して任せられる環境の整備等、青少年の健全な育成を図っています。

団体からのメッセージ

チーム結成3年目、京都勢初の全国大会出場を果たし、9月14日から開催された全国中学生大会に出場するため、茨城県水戸市まで行ってきました。描いた夢を自らの努力で実現してくれた子どもたちには、無限の可能性と「夢」や「希望」を持つことで、そこに向かって努力する事の大切さを私たち大人も再認識しました。子どもたちの頑張りのお陰です。



4 採択団体の取組紹介 ②重点支援事業

区民が主役のまちづくり

笑顔つなぐ みんなのいいばしょ(居場所)〈京都市南浜児童館運営協力会〉

連絡先 ☎075-611-3176(伊川) ✉minamihm@kyo-yancha.ne.jp

児童から高齢者まで楽しむことができる地域交流事業を開催し、共働き等の事情で、日中一人で過ごす児童の居場所をつくれます。子育て世帯から高齢者まで、地域全体で顔の見える関係を築き、住みやすい学区を目指します。

団体からのメッセージ

夏の暑い中での「ふれあいまつり」開催でしたが、多くの地域の方に参加していただき、楽しい半日を過ごせました。
学習支援も、常時8〜9名の児童が勉強をしに来てくれるようになりました。今後も地域の方々との関係を築きながら事業を進めて行きます。



向島ニュータウン小学生・中学生学習会〈向島ニュータウン学習会運営チーム〉

連絡先 ☎075-603-1287(事務局:伏見区社会福祉協議会)

小学生の時期から勉強に対する苦手意識を減らし、中学生になってからの勉強につなげるため、向島ニュータウンの小中学生を対象として、地域住民や関係機関、学生ボランティア等との連携の下、学ぶ機会と環境を提供する学習会を開催しています。

団体からのメッセージ

子どもたちが、楽しく安心して、学び過ごすことのできる居場所づくりを目指しています。
ここで学んだ子どもたちが、希望する学校に進学し、再び、この場所に顔を見せてくれることが、何よりの喜びです。



ふれあい子どもひろば〈藤森学区社会福祉協議会〉

連絡先 ☎075-642-9111(走井)

少子化や共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化等の問題があるため、様々な環境にある子ども達の居場所を作り、地域のなかで大切に育てることを目的として、子ども達が気軽に立ち寄ることができ、地域の方々の支えで安心して過ごせる居場所づくり活動に取り組みます。月1回以上定期的に、孤食を余儀なくされている児童に小学校等で団樂の場を提供しています。

団体からのメッセージ

今年度から小学校に会場を移し、参加する子どもの数が増えました。子ども同士で楽しく食事をしたり、地域の方と顔を合わせて挨拶をしたりと子ども同士だけでなく、子どもと大人の交流の場にもなっています。



小栗栖宮山子どもの居場所「あおぞら」〈小栗栖宮山子どもの居場所づくり実行委員会〉

連絡先 ☎075-574-0001(岩井)

小栗栖宮山学区の子どもたちを対象に、地域の大人や学生ボランティアと一緒に「学び、遊び、食べる」ことによって、子どもたちが安心して楽しく過ごせる場を提供します。

団体からのメッセージ

土曜日の午後を中心に、月1回程度開催。毎回、最初に1時間程度の学習の時間を設け、学習サポートを中心に、遊びの時間やおやつ時間も作り、子どもたちが学ぶことの楽しさを感じ、学びを通じて将来の夢をもつことができるよう、子どもたちに寄り添ってサポートしています。



池田子どもの居場所づくりプロジェクト〈池田学区社会福祉協議会〉

連絡先 ☎070-5658-9408(香川)

こども食堂、夏休みのキッズウィーク、クリスマス会、絵画教室を企画・運営し、多くの大人が関わることで、子どもたちが地域の中での居場所を確立し、自己肯定感を高めることを目指します。

団体からのメッセージ

池田学区内の子どもたちの仲間づくり、居場所づくりを目的とし、地域の方々の協力を得ながら運営しています。集会所でのこども食堂では、自分たちで作ったホットドッグを食べ、笑顔いっぱい時間を過ごしました。
これからも子どもと地域をつなぐ活動を継続して取り組んでいきます。



地域高齢者のための体操クラブ〈伏見公園体操クラブ〉

連絡先 ☎075-602-2113(土川)

板橋学区地域における健康長寿、生活の質の向上、自立した生活を送ることを目的として、公園体操と健康アドバイスを実施します。次の公園体操ボランティアリーダーの育成や、外出できない高齢者のためのLive動画の作成・配信を行い、取組の輪を広げます。

団体からのメッセージ

朝8時から実施していますが、20名程度の参加者があり、肩こり予防など健康につながるストレッチも交えながら楽しく体操をしています。
顔見知りも増え、コミュニケーションの場にもなり、元気ハツラツと過ごせます。



4 採択団体の取組紹介 ②重点支援事業

区民が主役のまちづくり

スマイル淀プロジェクト(めだかでつなぐ淀の和)〈スマイル淀プロジェクト〉

連絡先 ☎075-633-6557(樋山) ✉yodo-sien@kyoto.zaq.ne.jp

淀地域全体を対象に、世代を超えた交流を図るため、多世代が一堂に会することができるイベントを開催。イベント当日には、健康測定や川柳・俳句、福祉用具の展示や子ども向けイベント、認知症サポーター養成講座など、様々な催しを開催し、交流を深めます。

団体からのメッセージ

老若男女問わず世代を超えた交流イベントを開催しました。また、認知症サポーター養成講座によって子ども達にも啓発活動をできたことは意義深かったです。
淀地域包括支援センターとしては、初の試みでしたが、圏域内の介護・医療関連事業所がワンチームとなり、開催できたので、来年以降へつなげていきたいです。



歩行歩数全国行脚シュミレーションプログラム〈株式会社健幸プラス〉

連絡先 ☎075-603-3345(門川) ✉office@kenko-plus.co.jp

「歩行歩数全国行脚シュミレーションプログラム」システムを構築し、むかいじま健幸ステーションコミュニティスペースのパソコンから利用できるようにします。プログラムを利用するためにコミュニティスペースへ足を運び、健幸教室なども利用してもらうことで、高齢者同士の交流を図りながら、健康・生活への意欲向上につなげます。

団体からのメッセージ

地域の方から問い合わせや、体験者が増えています。
皆さん健康への意識が高く、予防にも関心をもってもらえるようになりました。



久我・久我の杜・羽束師 健康福祉まつり〈久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会〉

連絡先 ☎090-6902-9235(辻)

3地域の住民が手作りで開催するもので、引きこもりがちな高齢者の外出の機会になればとの思いが込められています。来場者に自治会等で取り組んでいる高齢者の居場所づくり事業をPRし、参加者を増やす狙いもあります。まつりを通じて、近所にお住まいの高齢者と顔見知りになり、困りごとを把握し、今後の取組に活かしています。

団体からのメッセージ

11月4日に「第3回久我・久我の杜・羽束師 健康福祉まつり」を開催しました。健康相談、認知症や介護に関する事業所の紹介、脳トレ、福祉用具展示、体力測定、血管年齢・骨密度測定のほか、地元住民による舞台など、様々なコーナーで賑わいました。約500名を超える来場者に、楽しみながら健康づくりをしていただきました。



単身高齢男性対象の「男の料理教室」と「洛いも」のグリーンカーテン作り〈久我地区社会福祉協議会〉

連絡先 ☎075-921-3278(河村) ✉shirou.k@kyoto.email.ne.jp

独居高齢者の男性が外出の機会を持ち、栄養バランスのとれた食事を作れるようになるため、「男の料理教室」を開催。また、自宅でも外に出ることを習慣づけるため、「洛いも」を使ったグリーンカーテン作りも行います。

団体からのメッセージ

健康長寿には「バランスの取れた食事」と「仲間づくり」、運動を取り入れた「居場所」が不可欠ですね。当初、緊張気味だった参加者は、今では和気あいあい。
京都市食育指導員さん5人が四季折々のアイディア料理を教えてくださいました。12月には収穫した「洛いも」の調理も楽しみました。



春日野学区民健康ウォーク推進「日本三大名泉の旅」〈春日野学区民健康ウォーク推進委員会〉

連絡先 ☎075-575-2255(森) ✉m.mori@minamiyamashiro.com

歩いた累積距離が目標地(有馬温泉、草津温泉、下呂温泉)に達成すれば入浴剤を授与するというイベントを行うことにより、目標達成感や健康増進に加え、歩く仲間を増やすことで人の輪を広げてます。

団体からのメッセージ

「地域で住民が相互に支えあって、健康づくりに取り組める環境づくり」を目標に掲げ、より多くの人が参加でき、また、仲間づくりと共に健康趣向を向上させることを狙って、事業を開催しました。
参加者からは、「これをきっかけに、ウォーキングが毎日の習慣になった。」という嬉しい声もありました。



全戸配布防災ハンドブック作成〈桃山東学区自主防災会〉

連絡先 ☎075-601-6767(小原) ✉ohha@nifty.com

桃山東学区を対象に、地震、土砂災害、水害が発生する可能性がある地域における防災行動を推進するため、各家庭で保存できるハンドブックを作成し、災害発生時の初期行動や、避難所運営等に係る知識の向上を図ります。

団体からのメッセージ

約半年間をかけて、災害が発生したとき『いかに対応するか』に着目して防災ハンドブックを作成。
作成したハンドブックを学区内の全世帯に配布することで、住民の災害に対する知識の向上と意識啓発を図ることができました。



4 採択団体の取組紹介 ②重点支援事業

市営住宅及び地域の防災力を高めるワークショップ事業〈田中宮市営住宅自治会〉

連絡先 ☎075-644-5606(月・火・金 15:00-17:00)(岡田) ✉tanakanomiya_kakurabu@hotmail.co.jp

田中宮市営住宅では共働きにより、日中子どもだけで家にいる世帯が多く、また高齢者も多いため、災害時の避難が速やかに行われないことが考えられます。これらの課題を解決するため、大学生による防災講習や防災に関する絵本の読み聞かせ、防災子ども食堂等を開催して防災への意識付けを行います。

団体からのメッセージ

災害でライフラインが寸断された時に備えてかまどベンチを購入しました。また、いざという時に使いこなせるよう、炊き出し訓練を実施。子ども達が、薪に火をつけ湯を沸かした後、豚汁や、じゃがバターを作って、みんなで食べました。災害時に、お互いに助け合うことの大切さを実感することができました。



地域の集合場所での、防災行動マニュアルの作成と導入〈深草学区自主防災会〉

連絡先 ☎090-7344-1535(森澤)

2017年に“地域の集合場所がわかる看板設置”を行いました。災害発生時に自宅から地域の集合場所を経由して避難所まで、どのように行動すべきかを意識付ける必要があります。そのため、災害発生時の安否確認や消火、救助活動等を具体化し、集合場所にマニュアルの抜粋をラミネートして設置、また“防災行動マニュアル”を冊子にして町内会に配布します。

団体からのメッセージ

実際に災害が起こったとき、多くの人はどう行動すべきか慌ててしまうおそれがあるので、みんなが集まる場所にマニュアルを設置し、また町内会でも配布することで、いざというときに冷静に動けるよう備えていきたいと思います。



災害に強い 安全・安心なまちづくり〈藤城学区自主防災会〉

連絡先 ☎090-4641-0777 ✉adotaka@carrot.ocn.ne.jp(高橋)

藤城学区まちづくりビジョンに基づき、大規模災害発生に備え、総合防災訓練などを実施し、「我が家の防災行動」シールなどで避難場所を知らせていますが、住民一人ひとりに浸透しているとはいえない状況です。そこで住民が日常目にする電柱や広報板の片隅に、避難所名と避難場所が明示された「災害時避難所プレート」を掲示し、迷わず指定の避難所に避難できるように意識付けします。

団体からのメッセージ

「災害時避難所プレート」を見ることによって、避難所を間違っていたと気づく方が多くいらっしゃいました。この機会に隣近所で災害時の備えの必要性など話題にさせていただくことで、防災意識の向上につなげていきたいと考えています。



4 採択団体の取組紹介 ③小規模枠

区民が主役のまちづくり

寒天特産品づくり〈伏見寒天記念碑を建てる会〉

連絡先 ☎075-611-0982(植野) ✉fushimikanten@gmail.com

寒天発祥という歴史的価値を地域に広めるとともに、特産品の開発により丹波橋通りの賑わいの復活を目指します。寸劇大絵巻「伏見寒天ものがたり」の上演や寒天特産品の開発、レシピ本の作成、ネット配信、料理教室などを行います。また、地域団体等と連携して「伏見寒天まつり」を開催します。

団体からのメッセージ

伏見で生まれた寒天を全国に発信するため、12月27日を寒天発祥の日を日本記念日協会に登録していただきました。伏見・お城まつりでは、伏見寒天発祥物語を公演し、寒天料理教室も開催。また、寒天料理のレシピ募集も実施し、2月には「京都での寒天作り」についての講演会も行いました。



伏見の歴史的魅力を広める事業〈伏見の魅力 広め隊〉

連絡先 ☎075-612-6270(山岸) ✉ytoffice@amber.plala.or.jp

伏見城や幕末維新の歴史を地域の人に広めるため、「鳥羽伏見の戦い」ガイドマップの制作や小学生を対象とした校外学習の開催、伏見城の史跡を巡るウォーキングの開催、伏見の歴史ガイドを行います。

団体からのメッセージ

「鳥羽伏見の戦い」ガイドマップ制作では、当時の様子が目に浮かぶようなマップにするため頑張りました。伏見城の史跡を訪ねる校外学習は、これまで知らなかった事柄を見聞き出来、子どもたちに好評でした。また、伏見城の史跡を巡るウォーキングでは、大勢の参加者が伏見城の歴史に思いを馳せる機会となりました。



注文をまちがえるレストランテ(まあいいか cafe)〈まあいいか labo きょうと〉

連絡先 ☎090-3354-3445(平井) ✉maiika.kyoto@gmail.com

認知症の方が社会と繋がり、役割を感じることができる場所や、介護者同士のネットワークを作ることができる場所として、まあいいか会(認知症の方と家族が楽しく気軽に集うことができる場所)を開催。また、注文をまちがえるレストランテ(まあいいかcafe)を開催し、講演会も実施します。

団体からのメッセージ

4月30日に開催した「まあいいかcafe」は、約90名のお客さまにご来店いただき、5人の認知症キャストと11人のボランティアスタッフで大盛況でした。また、9月20日に種智院大学で開催した和田行男氏と介護者3名によるワークショップ型講演会は、約70名の参加者で賑わいました。1月には、まあいいか会(当事者と家族のワイワイ会)も実施しました。



4 採択団体の取組紹介 ③小規模枠

区民が主役のまちづくり

KYOTO伏見音楽祭(KYOTO伏見音楽祭実行委員会)

連絡先 ☎080-5321-8809(佐々木) ✉kyotofushimi.music@gmail.com

地域における良好な人間関係を育む機会をつくるために、コミュニティづくりを目的とした「KYOTO伏見音楽祭」を開催。伏見で活動する音楽関係者を中心に音楽を奏で、多世代交流を図るためのロビーコンサート等を行います。

団体からのメッセージ

3月20日(祝日)にKYOTO伏見音楽祭の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、残念なことに開催ができませんでした。次回開催までメンバーで新たな企画を考え、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

伏見音楽祭実行委員会は、これからも頑張って伏見の町中が音楽で溢れる活動を目指していきます! ※写真は2019年3月の開催の様子



ペアダンスで健康長寿<ダンスホビークラブ(DHC)>

連絡先 ☎090-8981-5382(野本) ✉s-nomoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

住民の交流や身体機能・認知能力の向上を図るために、簡単なコミュニケーションダンスの無料講習を実施。多世代多様な人が暮らす地域のコミュニティ形成を図るとともに、高齢者には、生きがい向上と介護予防の効果を体感してもらいます。

団体からのメッセージ

音楽に合わせて足踏みをする簡単なダンスです。2人で手を取り合い、気持ちを合わせて踊ります。体力が弱い方も自分なりに動けます。初めて経験した方も「簡単にできて楽しい。」という声をいただきました。

「カラオケでお孫さんとダンス」という感じで色々な年代の人たちが、地域で気軽にダンスを楽しめる文化を創造できるよう活動しています。



自分でできるお昼ごはん!<五感で学ぶ料理教室 ククラブ>

連絡先 ☎090-3612-4406(五十川) ✉kitchenlabo.mothers@gmail.com

偏食による肥満、生活習慣病の低年齢化、核家族や共働きによる孤食、和食離れ等の課題の解決に向けて、小学生を対象とした体験型食育を開催し、仲間と共に作ることによる達成感の創出や、マナーやエチケットの取得を図ります。

団体からのメッセージ

「パンは何から出来ているの?」、「お米?」、「麦だよ」と、稲と麦の違いから始まる料理教室。パンの生地は手ごねで作ります。目で見て、音を聞いて、触って感じて、香りも楽しみ、最後は味わう。みんなで作って、みんなであげよう。子どもたちの笑顔は元気の源です!

体験型食育に興味を持ってくださった方、是非声をかけてください!メニュー等相談に応じます!
写真のメニュー
てりやきチキンバーガー、コールスローサラダ、ノンフライポテト、オレンジヨーグルトシェイク



居場所づくり<難聴者カフェ居場所づくり>

連絡先 ☎・FAX 090-4277-8504
075-603-1162(小池) ✉h27afdd9888dz5r@k.vodafone.ne.jp

難聴者が増加傾向にある一方、聞こえに関する相談ができる場所や居場所が不足していることから、定期的な集まりや講演会を開催することにより、難聴者同士のコミュニケーションの促進等を図ります。

団体からのメッセージ

毎月第4木曜日18時30分から20時30分まで、難聴者のコミュニケーションや情報交換の場づくりに取り組んでいます。写真の猫は、活動場所である「cafeマンヘイ」の看板猫「ぶくちゃん」です。ぶくちゃんに会いたい方、手話を少し学びたい方、コミュニケーション力をつけたい方など動機は、様々でかまいません。いつでもふらっとお越し下さい。お待ちしております。



伝承の動物をめぐる伏見の絵地図作成プロジェクト<京都伏見歴史普及会>

連絡先 ☎090-6737-0980(井口) ✉tomioiguchi@aim.com

伏見区内での人間と動物とのかかわりを絵にしたガイドマップを作成。子ども達に伝統文化を伝えるとともに、修学旅行や外国人に配布することで、伏見稲荷大社以外の伏見の観光地を訪れる人の増加や、人間と動物の共存の再認識による思いやり精神の芽生えを図ります。

団体からのメッセージ

伏見を訪れる多くの観光客に、作成したガイドマップを配布し、「お土産として持って帰る。」との感想をいただきました。

これまでに行ったことがない。あるいは、まったく知らなかった寺社に興味を向けてもらえる「取っ掛け」になったようです。



伏見区のSDGs達成に向けてのアクションプラン作成<2019龍谷大学SDGsキャップストーンチーム>

連絡先 ☎080-6917-1222(青山) ✉kozaoyama1222@gmail.com

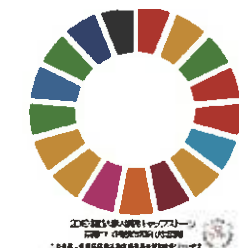
伏見区におけるSDGsの普及・促進に向けて活動しています。そのためSDGsカードゲームの実施、子ども向けのSDGsイベント「SDGsぱくであそぼう」を開催。中小企業家同友会伏見支部の会員の皆さんへのヒアリング調査や一般の方々へのアンケート調査も実施しています。

調査等を踏まえ、伏見区におけるSDGs達成に向けたアクションプランを提案します。

団体からのメッセージ

11月17日(日)に龍馬通り商店街イベントに合わせて子ども向けのSDGsイベント「SDGsぱくであそぼう」を開催し、100人のお子さん、200人の親御さんが参加。

また、中小企業家同友会伏見支部の企業の方々にヒアリングをしてみると、SDGsへの取組を積極的に行っておられることがわかりました。



④ 採択団体の取組紹介 ③小規模枠

区民が主役のまちづくり

地域に愛される公園づくりプロジェクト〈南部公園愛護協力会〉

連絡先 ☎ k.haresaku@gmail.com (晴佐久)

南部公園愛護協力会では、みんながホッポリでき、美しくあたたかい公園づくりを目指して活動しています。子ども達の思い出や地域住民の交流のきっかけとなるよう、年間を通じて花壇づくりやヨガなどを実施しています。

団体からのメッセージ

朝の新鮮な空気を吸いながらヨガで身体をほぐし、みんなで公園の清掃を行い、心と身体の健康を整えましょう。
毎月、第2土曜日・第4日曜日の朝9時から活動していますので、ぜひお越しください。



多様性を認め合える地域づくり〈にじいろプロジェクト〉

連絡先 ☎ 075-604-6159 (佐藤)

向島ニュータウンにおいて、地域住民の多様性への理解を深め、普及していくために、「シネマとトーク」を開催します。また、災害時要配慮者の防災意識を高めるための講演会・ワークショップも開催します。

団体からのメッセージ

11月に認知症をテーマとした映画「ぼけますから、よろしくお願いします」の上映会と認知症の当事者の方と家族のお話を聞きました。認知症が、進行する様子や介護する家族の葛藤などが切実に伝わりました。本人も家族も孤立しないように認知症を理解し、地域で支えていくことの大切さを学ぶことができました。
今後も様々な社会問題をテーマに取り組んでいきます。



近鉄向島駅前活性化事業〈向島賑わいづくり事業者組織〉

連絡先 ☎ 075-632-8013 (中嶋) ✉ nakajima@nakajima-nougyou.com

近鉄向島駅前の賑わいの創出によって、外出を控えていた住民の外出や、他地域からの訪問者の増加・定住を図ります。駅前の住宅供給公社の管理地を中心に、定期的にマルシェを開催し、賑わいの実績を作って住民の声を集めることで、地域の発展に向けた開発につなげます。

団体からのメッセージ

近鉄向島駅で、夜にマルシェを開催し、伏見のお米を使ったお酒をはじめ、伏見の酒蔵のお酒が飲める立ち飲みを試験的にを行い、アンケートも実施しました。
住民だけでなく、通勤等の駅利用者からも好評でした。



Tunagu spot事業〈ももネット〉

連絡先 ☎ 075-605-4707 (中西)

地域の企業や商店を「困ったときに駆け込める場所」として「Tunagu spot事業」協力企業として登録し、ネットワークの見える化を図るとともに、その各拠点と地域サロンを連動させることで、住民相互の助け合いや外出意欲、健康への関心を向上させ、安心して暮らせる共生社会へつなげます。

団体からのメッセージ

最後まで住み続けられる町を目指し、医療・介護・福祉事業所及び地域住民とのネットワークづくりを推進してきた4年でした。祝、継続してきた成果でしょうか、11月30日に「きょうと地域力アップ貢献事業者等」として京都市長から表彰をいただきました。
今後も、地域と福祉をTunagu存在として、まちづくりに励んでいきたいと思っています。



西日本最大の宇治川のヨシ原を保全する為の活動〈伏見楽舎〉

連絡先 ☎ 075-621-5689 (津田) ✉ shojtsd@yahoo.co.jp

宇治川河川敷に自生するヨシ原が水質浄化、自然環境の保全に役立っていることを、地域住民や子ども等に理解してもらうために、「ヨシ焼き・見学会」や「ツバメのねぐら観察会」、小学校におけるヨシの学習会・ヨシを材料にしたオブジェづくり等を開催します。

団体からのメッセージ

地域の人達に宇治川堤防沿いのヨシ原で、ツバメが集団ねぐらで生活している様子を見学し、自然界の営みを知っていただきました。
また、ヨシ原の維持管理・自然環境保全のため「ヨシ焼き・見学会」を行い、ヨシ焼きの醍醐味を感じていただき、ツバメのねぐら見学会も継続できました。
将来は、伏見の風物詩になればと思います。



第3回大岩七瀬川サロン〈大岩七瀬川サロン実行委員会〉

連絡先 ✉ wakamatsu@kyoto.zaq.ne.jp (若松)

町内会が崩壊しつつあり、地域住民の交流が薄れてきているため、犯罪や災害に弱い地域になってきていることや商店街や駅から遠い場所に住む高齢者は暮らしに支障が出ていることが課題です。

そこで、健康体操や地域に置くベンチについての話し合い、大学の音楽サークルの演奏・歌などサロンを通じて、幅広い年齢層の住民が世代を超えて交流を行い、安全な地域づくりに貢献します。

団体からのメッセージ

今回の新たな取組として「深草・竹やすらぎの会」とのコラボにより、深草地域の竹のベンチの設置の意義について深く知ることができました。竹のベンチを置く場所の決定に関わることで、高齢者のまちづくりへの参加意欲がかき立てられると思います。



④ 採択団体の取組紹介 ③小規模枠

区民が主役のまちづくり

SATOYAMA Sketch! ～「印象の森」を描こう～(父活プロジェクト)

連絡先 ☎ info.chichikatu@gmail.com

深草地域は豊かな自然環境に囲まれています。自然を体験できる機会が少なく、また、放置竹林の拡大などで生物多様性や里山らしい景観が失われつつあります。里山活動等の拠点である「FUKAKUSA BASE」を通じて、整備に関心ある人材を発掘すると同時に、主体的な里山活動を促進するオープンな場としてイベントを開催し、地域横断型のコミュニティをつくります。

団体からのメッセージ

8月に大岩山の竹を使ったものづくり、デジタルファブ리케이션に関わる人達と身近な裏山をコンセプトに12月は大岩山アドベントカレンダー企画を行いました。山とまちをつなぐ試みが少しずつ始まっています。



竹・おでかけベンチで深草・やすらぎのまちに! (深草・竹やすらぎの会)

連絡先 ☎ 090-3359-9800 (三林) ✉ sanba@kpe.biglobe.ne.jp

一度に歩ける距離が短くなる高齢者は、買物や通院が大変になり、散歩・外出もおっくうになります。また、退職後、地域に知り合いを作りにくい男性高齢者も外出の機会が減ります。そこで一緒に深草の竹を活用した「おでかけベンチ」を製作し、ウォーキング会や小学校での総合学習への参加を通じて、新たにベンチを5か所設置。健康増進や多世代交流の輪も広げる事ができました。

団体からのメッセージ

10月初旬にベンチ製作会を実施(左)、11月下旬にウォーキング会で設置ベンチを巡りました(右)。初参加の方もおられ楽しいひとときでした。



美しい深草竹林の景観を守ろう! (バンブーフレンズ)

連絡先 ☎ 090-2286-6972 (河合) ✉ sairakugen831@docomo.ne.jp

農家の高齢化により竹林の荒廃が見られることから、大学生約30名と地域住民に、農業の大切さを伝え、竹林整備を行い、美しい景観を守ります。竹林整備の講師を迎え、講演会の開催と竹林整備活動、竹の腐葉土づくりを行うことで、深草の資源を理解し、地域住民と農家とのつながりを深め、将来の農業後継者の育成につなげます。

団体からのメッセージ

活動を通じて、学生をはじめとする若い世代に、深草には素晴らしい自然資源があることを伝える機会になったことを嬉しく思います。美しい竹林を維持するためには、問題点があることに気付いて良かったです。



大岩街道周辺地域の不法投棄対策および鎮守池整備・活用事業 (龍谷大学政策学部井上ゼミ)

連絡先 ☎ 075-645-8412 (井上)

大岩街道周辺地域では未だに不法投棄が散見され、散策者も増える中で景観や環境の面で課題があります。整備が進みつつある鎮守池もまだ地域の交流拠点にはなっていない状況です。そこで、清掃活動や鎮守池の整備を住民、事業者、行政と連携して実施するとともに、深草小学校の協力も得て伐採した竹を活用し、竹灯籠やベンチ等を制作。不法投棄防止を促進するための整備とイベントを通して、住民、事業者、行政、大学間の交流を図っています。

団体からのメッセージ

地域の資源である竹を用いて住民の方々と竹細工を制作し、深草ふれあいプラザなどで地域のPRを行うとともに、地域の課題でもある不法投棄対策を実施。清掃活動や竹灯籠イベントなどを通して、住民の方と連携・交流し、不法投棄を減らす取組などを行うことができました。



「食」でつなぐ世代間交流 (特定非営利活動法人 深草・龍谷町家コミュニティ)

連絡先 ☎ 075-644-7760 (長谷川)

地域における人間関係の希薄化、多世代交流の不足で地域社会の連携意識の希薄化が見受けられます。また、地域の風土や特性に対する若者の興味関心が薄れ、地域の伝統文化、名産が損なわれる傾向にあります。和食文化関係者を講師として、地域住民と学生・留学生が調理や試食、日本酒の試飲を通じて工程や味わい等を学ぶことで、和食文化の理解と継承の機会を創出します。

団体からのメッセージ

参加者からは、「京野菜や日本酒について関心が深まった。」「普段から学生と話す機会がないため、若い人の考えや想いなども聞くことができ、楽しく時間を過ごしました。」との意見をいただきました。



ラジオ体操推進と地域コミュニティの活性化活動 (藤森神社ラジオ体操の会)

連絡先 ☎ 075-641-7437 (永井) ✉ kyo-nagai@gaia.eonet.ne.jp

高齢化社会が加速度的に進む中、特に高齢者の健康維持、引きこもり防止の一助として、藤ノ森小学校区近辺の高齢者を中心に、長年藤森神社境内で毎朝、ラジオ体操を実施。また、体操参加者を中心に地域の歴史、ロコモシンドローム予防のセミナーを開催。さらに、体操会場の神社境内の清掃を参加者で定期的に行い、地域コミュニティの活性を高めよう活動しています。

団体からのメッセージ

歴史セミナーでは「藤森神社の御祭神」について学び、参加者の方々も興味深く聴講されていました。また、ロコモ予防セミナーでは認知症予防の体操なども指導していただき、参加の皆様も楽しい時間を過ごしていただくことが出来ました。定期的な神社境内清掃もワイワイとしゃべりながらの楽しい時間となっています。



4 採択団体の取組紹介 ③小規模枠

区民が主役のまちづくり

人の和で繋ぐコミュニティの街(学区)〈砂川学区人に優しく美しい街作り協議会〉

連絡先 ☎075-643-2324(土田)

龍谷大学、言語学院ともに年々地域内の学生数が増加しているため、ゴミ出しや自転車の交通ルール等について、学区民との交流を通じて、日本文化・伝統とともに学んでもらいます。6月のホタルの夕べ、少年補導飯盒炊飯、7月の夏祭り、11月の学区防災訓練、12月の餅つき大会を通じて交流を図ります。

団体からのメッセージ

昨年度に引き続き、地元のイベントを通じて、留学生と地元住民とが交流できる場を設け、ゴミ出しや交通マナーなど生活する上で守るべきルールについて学んでもらいました。今後多くの人に参加してもらえようようにしていきたいです。



我が事として分かちあう砂川の街づくり〈砂川学区自治連合会〉

連絡先 ☎075-643-2324(土田)

学区内の高齢化が進み、町内活動にも支障が生じているため、学区全体で見守れる街、自治連合会や各種団体が丸となり安心して住める街を目指します。独居老人や在日の高齢者、留学生等が忌憚なく話し合える場所づくりや、自主防災会などでの引きこもり老人等の聴き取りや災害時のマニュアル作成、過疎地域問題での小学生交流等を通じた自治会同士の連携などを行います。

団体からのメッセージ

高齢者と子育て世代の交流、災害時の引きこもり老人等の安否確認とその対策、過疎地域の小学生との交流を主とした自治会間連携などを通じ、学区全体が丸となっていくことで、安心して住める街になるよう今後も努めていきたいです。



みんなでつくろう未来にひろがる「高松橋ひろば」〈鴨川運河会議〉

連絡先 ☎kamoun.ukai@gmail.com(鶴飼)

伏見区北端に位置する高松橋ひろばは、認知度が低く、まだまだ地域に根差したものになっていません。ひろばの管理・活用に携わる方は高齢者が多いため、多世代に広げる必要があります。そこで、年2回のマルシェなどを通じて、子どもたちが遊べるワークショップやその母親を対象にした店舗や音楽、飲食店など、多世代に渡り楽しめる「ひろば」を提供していきます。

団体からのメッセージ

今年度は、2回のマルシェを開催し、合計約600名の方々に楽しんでいただきました。次年度には、新しい「高松橋ひろば」を見てもらえそうです。私たちもこの「ひろば」が、未来に向けて、どのようなようになっていくか楽しみです。今後も、賑わいのある「ひろば」となるよう活動していきます。



醍醐味eets〈醍醐味eets準備会〉

連絡先 ☎090-9116-2127(高向) ☎daigomeets@gmail.com

地域内各所・各人をつなぎ、連携・関係性を深めることを目的として、地元の学生・生徒を中心に、地域の誰もが楽しめる音楽イベントを開催。「醍醐」中の人々が「meet」(=出会う)ことで、【醍醐味】(=本当のおもしろさ)をみんなで味わいましょう。

団体からのメッセージ

今回初の取組として、採択決定後、夏から準備を進めてきました。パセオ・ダイゴロー、辰巳浴場、MOMOテラスの3つの会場を舞台に、京都橘中学校・高校、京都橘大学、京都文教大学、龍谷大学などから多くの参加をいただき、おかげさまで多くのご来場をいただきました。今後、より多くの参加を募り、連携を深め、醍醐地域の盛り上げに取り組みます。



砂川小学校児童安心安全見守り事業〈砂川安心安全見守り隊〉

連絡先 ☎090-2012-8463(小野)

砂川学区には2つの大きな街道(竹田街道・師団街道)と、外国人観光客の大型バスが通る稲荷新道があり、砂川小学校児童の登下校の安全を確保する必要があります。そこで、交差点や危険な場所・通りで立番をして、交通安全の意識を高めます。

団体からのメッセージ

近年、外国人観光客を乗せた大型バスの通行が増えているので、暑い時も寒い時も、毎日、砂川小学校の子どもたちが安全に登下校できるよう立番をしています。まだまだ隊員が不足していますが、継続できるように引き続き、声掛けをしていきます。



子どもが創る町づくりサポート〈笑顔いっぱい会〉

連絡先 ☎075-202-3474(松井) ☎totohouse@iris.eonet.ne.jp

遊びの会や宿題の会等を通じて出会った子どもたちが、駄菓子屋を企画・運営することで、子どもたち自らが地域との関わりを創り、実感してもらうことを目的とする事業です。

団体からのメッセージ

子ども達が駄菓子の仕入れ、店舗づくり、販売までを行いました。チラシも手作りして配布し、多くの方が買いに来てくれました。駄菓子屋を購入していただいた方達とボードゲームなどを楽しみ、地域の交流もできました。改めて、子ども達の力に驚かされる企画でした。



MEMO

【本事例集に関する問合せ先】
伏見区役所地域力推進室企画担当 (電話611-1295)

【伏見区区民活動支援事業に関する問合せ先】
伏見区役所地域力推進室まちづくり推進担当 (電話611-1144)
深草支所地域力推進室まちづくり推進担当 (電話642-3203)
醍醐支所地域力推進室まちづくり推進担当 (電話571-6135)